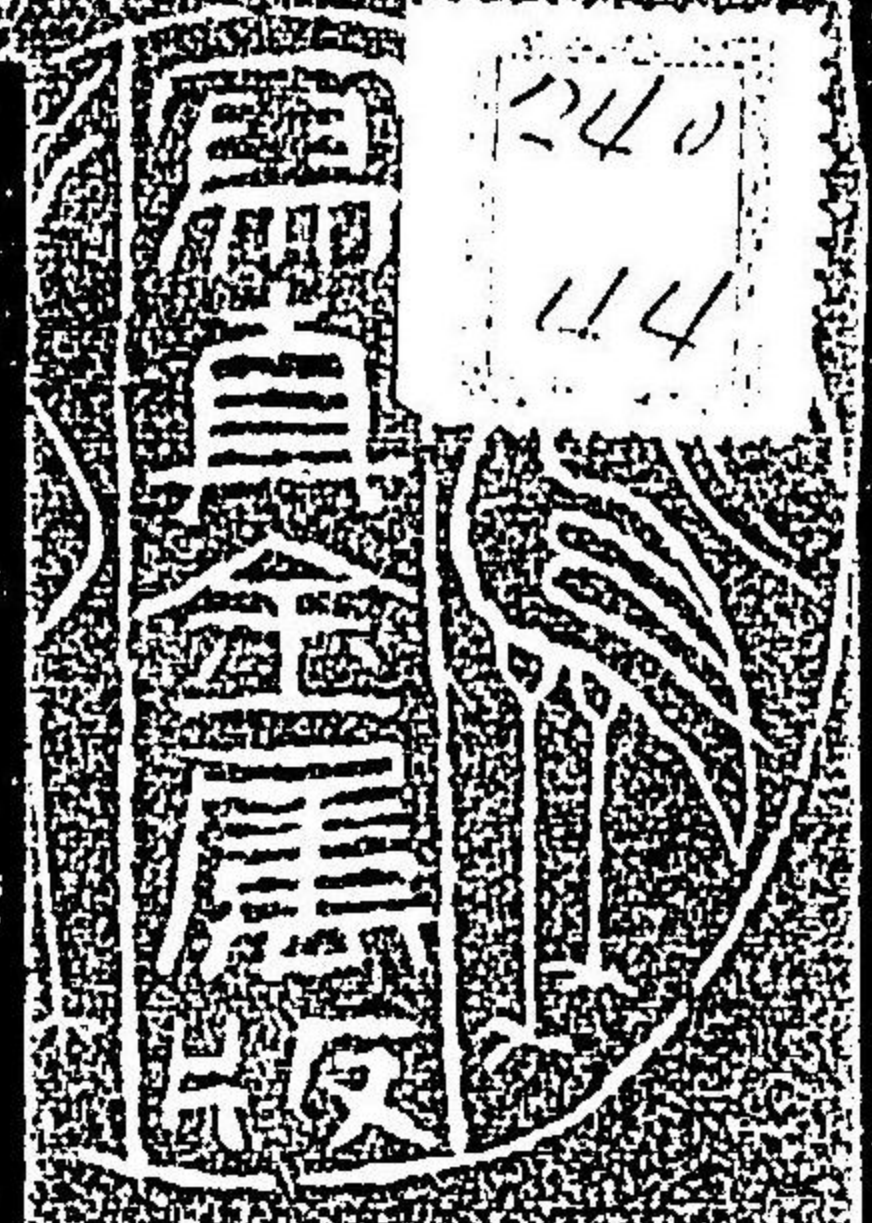


240
114



書訣

上編第三卷

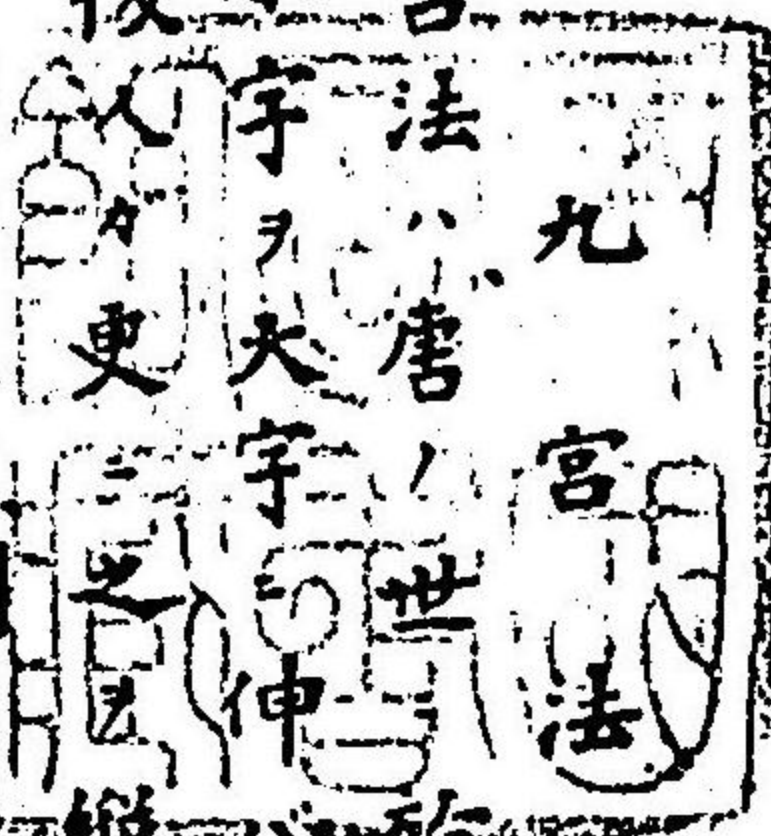
默鳳道人著



點鳳道人田圃述

九宮法

九宮法ハ唐ノ世於テ創テ造リレモノニテ縦横共ニ九畫ニシテ本
ハ小字ヲ大字ニ伸レ或ハ大字ヲ小字ニ縮メ用ニ供レタモノダ
カ後ハ更ニ之ヲ縦横共ニ六畫ニ減シテ結體ノ用ニ供スルコトニ
レタノガアル例ハ手本ノ字ヲ臨スルニ方ツテ結體ガ意ノ如ク出
来ヌトキハ九宮法ノ薄紙ニ引キテ之ヲ其手本ノ字ニ當テ見ルト點
畫ノ配置ガ能ク分ル又自分テ文字ヲ作ルニモ結體ガ意ノ如ク成ラ
ヌトキハ九宮ノ罫ヲ作り其上テ體ヲ結ブト點畫ノ配置等ガ容易
ニ出来ル是亦ク作字速成ノ一便法ダ有ル併レ其手本ノ字ヲ九宮法
ニ當テ寸分違ハヌ様ニ作りテハ形態ノミニ止ル死版ニ近キモノト
ナル故ニ凡ソノ見當ヲ取ル為メニ止メテ置ガ宜シイ左ニ其三四ノ
例ヲ示シマス



明治
42 9 6
内交

小

口

日

大

鄉
養

邊

短

從

四

五

長

身

曩

四

人之足走是
人心必冰

右ノ大ハ、結體上縦横共ニ場席ヲトルコトノ多キ字デアル、小ハ他ノ字ニ比シテ小サク作ラネハ章法即チ數字ヲ配列シテ上デ鈞合ヒガ取レナイ、長ハ結體上長クナル字ニテ短ハ之ニ及レテ短カクナル字ヲ有ルガ、皆九宮法ニ納メラ見ルト其大小長短ノ度及ヒ點畫ノ配置ガ能ク分ル、此他偏側及屈曲スル文字モ亦九宮法ニ入レテ見ルトキハ其位置ガ判然スル、本編ヨリ骨法ヲ止メマス、故ニ若シ左ニ掲クル手本ノ文字ニ於テ結體等意ノ如ク作ルコトノ出来ナイトキハ九宮法ニ據テ研究セラレタイ、本編ハ文字中ダ六ツカシキ波法戈法ヨリ漸次進ンダ畫ノ多キ文字ヲ掲ゲマシク之ヲ習熟セラレバ此手本以外ノ文字モ意ノ如ク作レル譯ケダス、何ゼナラバ必要ノ偏傍ト結體ノ六ツカシキモノハ悉ク網羅シテアルカク楷法ハ本編ヲ以テ卒業スルコトニ致シマス、故ニ前二巻ト通シテ十分ニ研究セラレ、トテ企望シマス、

孤

流

旅

又

入

文

父

交

丈

史

矢

失

央

才

第

七

世此氏民

戈戊代式

或互亞臣

近區幽齒

十一

十

因固國國春

眷祭榮恭

傳博敬飲
致補備稱

錄緣豫無

然勲忽忍

蹈稻賈賞
賢資託純

乾馳蓋益

書畫就既

瓶執寶貴
強猛亮毫

電
延
迴
起

錢
誠
歷
整

唯
增
暖
峻

等
尊
辱
鬼

旭勉姪瑶

華舉筆論

翰象篆搜
獲并奇命

算鼻舞聲

佐編諸銘

舊畱食倉

後復稿橋

受
愛
慶
臨

操
為
馬
鳥

險
聯
武
成

盛
感
肆
歸

號
錦
圃
菊

韓
輯
飛
氣

風
鳳
數
教

殿
勇
勢
務

源濱標襟

歲箴雙變

森磊雲窮

覆羅爵爵

術御鄉禪

譚機議微

徵覺覽見競
龍觀鳩輝

曜懼櫻縷

簡蘭懷濃

釀廣屬處

鼠鼯龜謂

靜
構
撰
潔

積
讚
續
顛

賴
繁
擊
館

艱
鱗
攝
體

靜
構
撰
潔

積
讚
續
顛

賴
繁
擊
館
艱
鱗
攝
體

鑑

謙

繆

縣

顯

隨

縱

能

融

獻

翹

趣

側

榭

謝

衛

辯
錐
鶴
鷗

騰
灑
疆
嚴

廢
廳
癡
闢

圓
團
毆
酉
靈

藥臺藝壽

鸞敬馬替蟲識

鐵織諷億

游邊遵導

儻 囊 囊 鄉 饗 食 齋 臍
 繡 纏 瞻 糝

以正合以奇勝ト云フ古語ガアルガ書法ニモ奇正相生ト云フコトガ
 アル併シ奇ノミニ偏スルハ固ヨリ善トコトハ謂ハレナイガ正ノ
 ミニ偏シテハ生動ヲ失フ恐レガアル人ニ喜怒哀樂ノ情アルト共ニ文
 字ニモ亦タ其筆情ガアル古人ノ書心畫也トハ此事ヲス唐ノ李邕ガ
 義之ノ書ヲ評シテ曰フニ樂毅論太史哉ハ其體正直ニシテ忠臣烈士
 ノ象アリ告誓文曹娥碑ハ其容憔悴トシテ孝子順孫ノ象アリ道遠嚴
 孤雁賦ハ迹迹ノ趣高ノ後俗抱素ノ象アリ畫像贊洛神賦ハ姿儀雅ニ
 シテ矜莊嚴肅ノ象アリトハ的評ニ近イガ其忠臣烈士孝子順孫矜莊
 嚴肅ノ象ハ正ニ屬シ後俗抱素ノ象ハ奇ニ屬スルモノデアアルガ併シ
 奇字ヲ作ルニハ正ヲ本トシ正體ヲ作ルニハ奇ヲ意味セバナラヌ
 蘇東坡云フ凡ソ世ノ貴ブ所ハ必ズ其難キヲ貴ブ楷書ハ飄揚ニ難シ
 ト飄揚ハ奇ヲ意味スル語デアアルガ飄揚トカ飄逸トカ云フ體ヲ楷書
 ヲ作ルニハ多クハ其體ガ纏マラスモノデ有ルガ九宮法ニ據ヒ之ヲ
 作ルトキハ奇中自ラ正ヲ得テ之ヲ纏マルコトが出来ル左ニ其一ニラ

新誓

正

城

正

誓

奇

城

奇

右ニ掲グル如キモノデ假へ奇ナル文字ヲモ九宮法ニ據テ作ルトキハ、一字ノ體ヲ為レテ、紙上ニ立ツテ居ル様ニ見ヘル、如此ノ九宮法ヲ廣ク遣へバ、至便ナモノデ、且ツ有益ナルモノデ有ルカ、初學者ニ在テハ、先ヅ正ナルモノヨリ研究セラレタイ、其レカラ結體ニ就テ心得ヲ置クベキ事ヲ左ニ列記スルガ

繁文ト省文 或ハ増減

トモ云フガ繁文トハ極ヲ極ニ辛ク辛ク鳥ノ鳥ノ親ヲ親ニ作ルノ類ニテ、省文トハ惠ヲ惠ニ、專ヲ專ニ、勸ヲ勸ニ、變ヲ變ニ、隱ヲ隱ニ、作ルノ類ニテ繁文ハ極メテ少ナイガ、省文ハ此他ニ多ク有ル、原ト楷書ハ隸書ヨリ變ジタモノデ、其隸ハ秦ノ世ニ程邈ガ篆書ノ畫ヲ省キテ簡易ヲ主トレテ作リレモノデ有ル、其後漢ニ至リテハ頻リニ省又カ行レテ撰ツ撰ニ作ルソノナラズ、左傍右偏マテ省キテ鏡ヲ竟ニ、仙ヲ山ニ作リレモノモ有ルガ、此等ノ文字ハ日本人ハ通ジナイガ、楷書ノ起リハ右様ノモノデ有ルト云フ事ハ心得置キテ宜シト思フ、

借換

トハ、秘性秋榮等ノ類ニテ、左偏ノ點ヲ借リテ右傍ノ點トスルガ如キモノテアル、

補空

トハ、神建等ノ類ニテ、神建共ニ點ノ無キ字デ有ルガ、結體上空處ガ出来テ、其體ノ能リ整ハストキニ點ヲ補フノデアル、

相攘

トハ、上下差リハ、左右相攘リテ體ヲ結ブコトデ、例ヘバ、

鴻 鷗 馳

ノ類ニテ、鴻鷗ノ二字ハ左偏ノ下ヲ右傍ニ攘リ、馳ハ左偏ヲ小ニ且馬ノ四點ヲ三點ニ減ジテ右傍ノ也字ノ妨礙ナキ様ニ作ルノデアル、右等ハ相攘ノ大ナルモノデ有ルカ、此他偏傍等ノ二個以上ヲ合セテ作ル文字ハ、多少相攘ト云フコトガナケレバ成ラヌノデス、

凡ノ書ヲ學ブニハ楷行草ノ各字體ヲ一通リ知得スルコトガ最モ必
 要デ有ル其一般ヲ見ルニハ博文館發行ノ五體字書ガ至便ナル其
 以上詳細ノ事ヲ調査セン欲スルトキハ隸ニハ隸篇楷ニハ楷法遯原
 行ニハ行書類纂草ニハ草字彙及草露貫珠等種々大部ノ書モアル
 ガ普通一通リノ字體ヲ見ルニハ五體字書一部ヲ備フレバ十分用ガ
 足リマス
 古人ノ書論書評等モ一通リ讀ンデ置クガ宜シイ之ハ玄抄類摘
 (全五冊)ニ一通リノ事ガ載セテアル但古本ゾアルカラ何處ノ書肆ニ
 モ有ルトニテ譯ケニハユカヌ

書訣 第三卷尾

明治四十二年八月二十七日印刷
 明治四十二年九月三日發行



發售所

東京市神田區佐久間町一丁目一番地

西東書房

電話下谷七〇六番
信口座七七番

著作者

東京市下谷區谷中初音町四丁目廿六番地
默鳳前田圓

發行兼
印刷者

東京市神田區佐久間町一丁目一番地
七條愷

發行所

東京市神田區佐久間町一丁目一番地
書道振興會

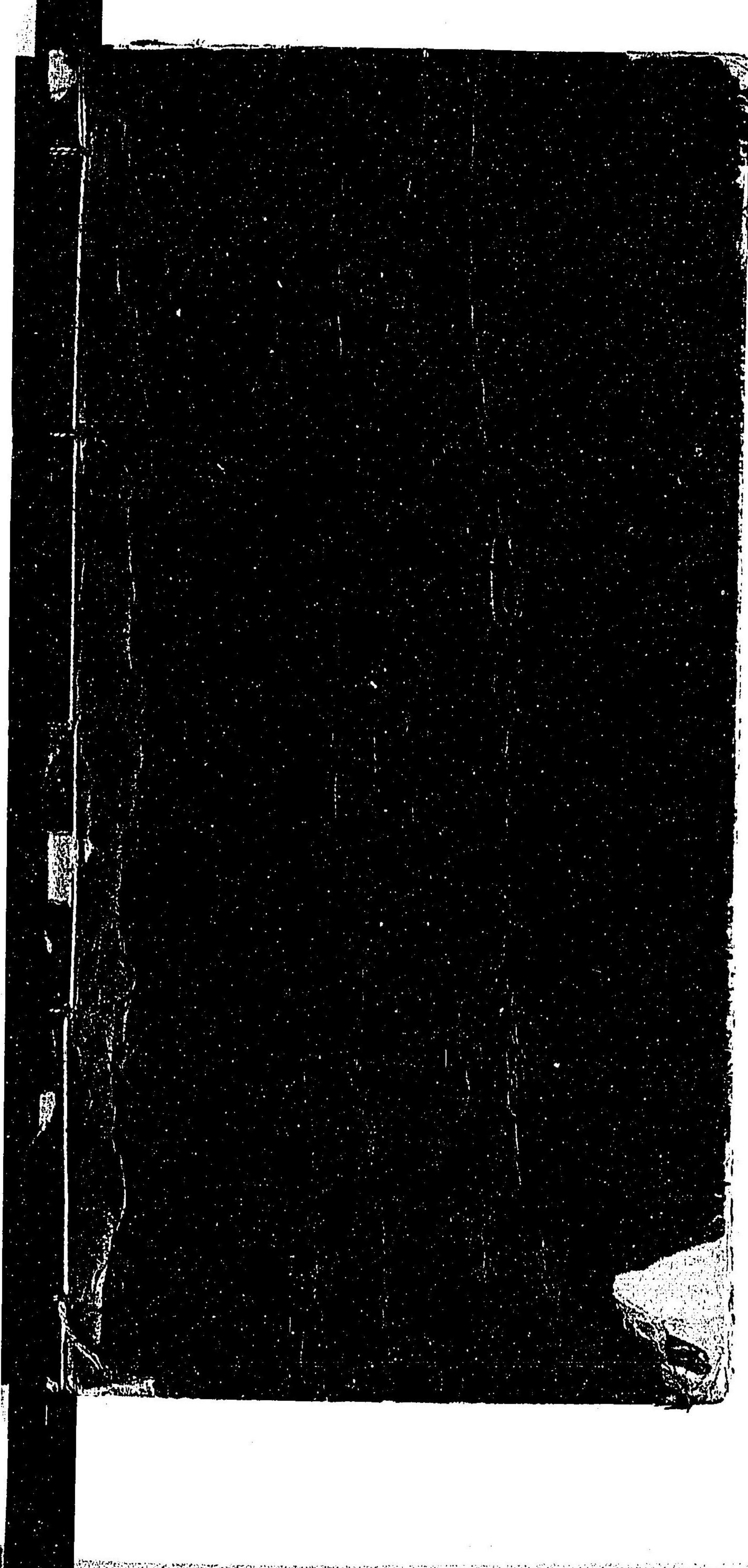
印刷所

東京市神田區佐久間町一丁目一
金鳳版印刷合資會社

書訣上之楷書之部第五卷尾附
 正價金六拾錢

240
 44

2140
11.1



244
244

書

訣

上編第三卷